



はじめての農業委員会



知って得する!?

農業者年金業務の手引

～加入推進のポイントをわかりやすく解説～

京都府農業者年金キャラクター
「のうねんくん」

「農地なbeeくん」



農業者年金を
知らない人をなくそう!

編集 永武 幸子

全国農業委員会ネットワーク機構
一般社団法人 全国農業会議所

はじめに

「農業委員会の業務の中に農業者年金の加入推進があることをご存知ですか？」農業委員会に所属してから、多くの委員さんや事務局員の皆さんと話をしてきました。が、残念ながら返ってくる答えの大半は、「そもそも農業委員会ではなぜ農業者年金を勧めるの？」という疑問でした。

まずは、この疑問から解消しましょう！

農業者年金は、農林水産省が予算化している公的な年金です。農業者年金制度の普及や加入推進は、委員会業務のうち（農業者等への）情報の提供として、農業委員会法に定める第6条第3項に位置づけられており、さらに令和7年4月に閣議決定された改正「食料・農業・農村基本計画」にも将来の担い手を育成・確保する支援制度として位置づけられたからです。

以上が回答ですが、私としましては、実のところ、どうして勧めているのかと聞かれましたら「農業者にとって得だから知らない人には教えてあげたい」というだけです。

とはいえ、最近の農業委員会業務は、本当に多様化してしまって忙しく、特に改選後のはじめての委員さんやはじめて農業委員会に配属された職員さんには負担でしかありませんよね。

本手引では、農業者年金の基本部分と加入推進について、ギュッと濃縮して判りやすくまとめました。農業者にお得な農業者年金をぜひあなたの街の農業者に伝えてあげてください。

『農業者年金制度』誕生の背景と趣旨を説明するよ！

- ▲戦後の年金制度…サラリーマンと農業者には大きな格差
- ▲昭和36年制定の農業基本法…農業者と他産業従事者の格差是正が課題
- ▲農業委員会組織中心…「農民にも恩給を！」等のスローガンのもと350万人の署名、農業委員ら約1万人の要請大会等大運動を展開
- ▲全国農業協同組合中央会に「農民年金推進専門委員会」を設置…政府・政党への申し入れ等実施

農業者年金は、農業者にもサラリーマンなみの年金をという農業者の声から生まれた『農業者の老後の不安を解消する農業者のための公的な年金』で、農業者の確保を目的として1970年（昭和45年）に創設された終身年金です。



本手引書の解説動画はこちらから！
パスワード：5555



2 農業者年金ってなんですか？

農業者の老後の不安を解消する農業者のための公的な年金

- ◎ 農業者（1号被保険者）の公的年金は、基本、国民年金だけです。
→会社員、公務員には、厚生年金もあります。
- ◎ 農業者年金の目的
「**農業者の老後生活の安定及び福祉の向上と農業者の確保**」です。
- ◎ 昭和45年創設、平成13年改正と令和2年・3年制度改正で内容がさらに充実。



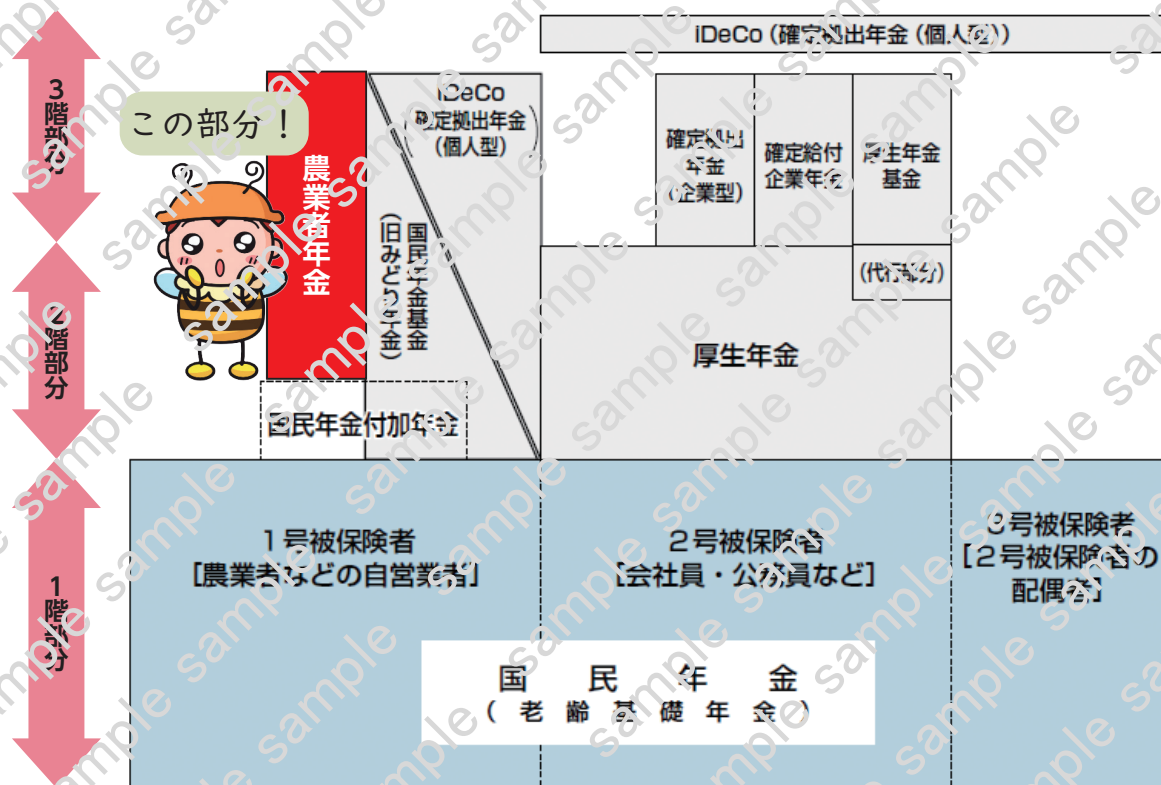
1) いまや長寿社会！～平均寿命・平均余命伸びてます～

	農業者年金創設時(1970年)の平均寿命	2023年の平均寿命	平均余命を加えた年齢(65歳)	健康寿命
男 性	約 70 歳	約 81 歳	約 85 歳	約 73 歳
女 性	約 75 歳	約 87 歳	約 89 歳	約 75 歳



年金の必要性が判るよね！

2) 農業者年金 は年金制度の「2 階」部分



※公的年金が2階建てであることを分かりやすくするため、一部情報を簡略化しています。



農地な bee くん疑問

「公的年金ってかけても損なんじゃないの？」

国民年金の場合

★令和 7 年 4 月からの保険料月額 17,510 円

納める保険料額 $18,000 \text{ 円} \times 12 \text{ か月} \times 40 \text{ 年間} = 864 \text{ 万円}$

★令和 7 年 4 月からの受給額月額 69,308 円

受給額 男性 $69,000 \text{ 円} \times 12 \text{ か月} \times 16 \text{ 年間} = 1,324.8 \text{ 万円}$

男性平均余命 81 歳で計算、65 歳から 81 歳まで 16 年間

女性 $69,000 \text{ 円} \times 12 \text{ か月} \times 22 \text{ 年間} = 1,821.6 \text{ 万円}$

女性平均余命 87 歳で計算、65 歳から 87 歳まで 22 年間

厚生年金の場合

★月給の 18.3% が月額 → 会社が半分負担

初任給の平均 20 万円で計算すると月額 36,000 円あまり

参考までに受給額ですが平均で月額 145,000 円



決して損にはなりません。

安易に保険料の納付免除をしないで将来に備えるよう教えてあげましょう。

3 農業者年金ってどんな人を入れるの？

① 農業上の要件：年間60日以上農業に従事する者

◎ 農地の所有の有無は関係なく、自家菜園や短期的な農作業のアルバイトなども対象、もちろん畜産経営や自営業と兼業されている農家さんも入れます。専業の農業者でなくとも大丈夫…要件を満たせば、農業者の奥さんもOKです。

② 年齢要件：20歳以上65歳未満

◎ 国民年金の納付期間が480月(40年)に満たない60歳から65歳未満の方で、国民年金に任意加入している方も加入できます。(年金額の充実を！)

③ 国民年金の要件：国民年金の第1号被保険者（保険料納付免除者でないこと）

◎ 料理店や理髪店など個人経営の事業主も他の要件に該当すれば対象になります。

◎ 国民年金の付加年金に加入することも大切な要件です。今は農業者年金に入る余裕がないという方にも付加年金だけはすぐに加入されるようお勧めしましょう。(お得情報は、メリットのところで確認)

